

2017 年 6 月 5 日
株式会社 神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、アプリジャパン WUG ブースで IoT システム搭載遠隔作業支援アプリを出展 —ウェアラブルデバイスとセンサの連携で新たなサービス体験を—

株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉 一郎、以下 KDL）は、2017 年 6 月 7 日（水）より 9 日（金）まで、幕張メッセで開催される、「アプリジャパン 2017」の日本ウェアラブルユーザー会（※）ブース内で、メガネ型ウェアラブルデバイス向けの IoT システム搭載の遠隔作業支援アプリを出展いたします。

本アプリケーションは、遠隔にいる支援者に作業者が視点を共有したり、センサと連携してデバイスに異常を通知するもので、ブースでは視点の共有とセンサが異常を検知してからウェアラブルデバイスに通知するまでの一連の流れを体験いただけます。このほかにも、メガネ型ウェアラブルデバイスにプレゼンテーションのメモを表示して、目線を落とさずにプレゼンテーションするためのプレゼン支援アプリも展示。日本ウェアラブルユーザー会とともに、日本のウェアラブル産業を盛り上げます。ぜひご来場ください。

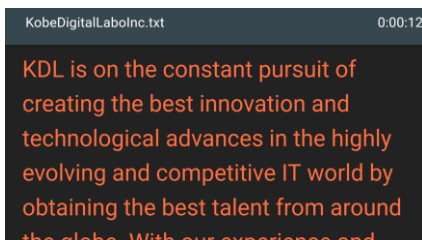
■ IoT システム搭載の遠隔作業支援アプリ概要



IoT システム搭載遠隔作業支援アプリ
スクリーンショット

メガネ型のウェアラブルデバイスを装着したユーザの視点の映像を、リアルタイムに配信するアプリケーションです。工場や警備の作業者の視点を遠隔から確認し、確認・作業指示が行えます。また、センサで検知した内容をウェアラブルデバイスに通知する IoT システムを搭載。施設内のドアの開閉などを検知し、ウェアラブルデバイスに通知して確認を促すなど、身に着けるデバイスとセンサの連携による新たなサービスを実現します。

■ プレゼンテーション支援アプリ概要



プレゼンテーション支援アプリ
スクリーンショット

メガネ型のウェアラブルデバイス上でプレゼンテーションのメモや台本を表示するアプリケーションです。原稿を見るためにプレゼンターが目線を落とす必要がある、という従来のプレゼンテーションの課題を覆し、前を向いていても画面が「自然と目に入ってくる」ことで、プレゼンテーションのパフォーマンスの向上を実現します。

事例はこちら：<http://www.kdl.co.jp/works/ipad/application/nalux.html>

■ イベント概要

会期：2017 年 6 月 7 日（水）～9 日（金）10:00～18:00（初日は 10:30 から、最終日は 17:00 まで）

会場：幕張メッセ 日本ウェアラブルデバイスユーザー会ブース／7B33 Wearable Pavillion

イベント URL：<http://www.f2ff.jp/apps-japan/>

※日本ウェアラブルデバイスユーザー会（WUG）・・・

日本の要素技術やノウハウを活かし、日本のウェアラブルデバイスの産業を活性化させることを主旨とした団体。

URL：<http://w-ug.jp/>

【発表者概要】

株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 永吉一郎

所在地 : (本 社) 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル

設立 : 1995 年 10 月

資本金 : 2 億 995 万円

従業員数 : 167 名 (2017 年 2 月現在)

URL : <http://www.kdl.co.jp/>

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】 ※取材など随時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 神戸デジタル・ラボ

担当 : 金谷 (かなたに)、堀尾 (ほりお)

TEL : 078-327-2280

E-mail : info@kdl.co.jp